



令和6年度  
福島小学校だより

ふくしま

第4号 9月20日  
八女市立福島小学校  
校長 郷田 純一

## 令和6年度全国学力状況調査：大幅向上です！

- ◎ 国語：5年生の県学力調査から、11.5ポイント上昇しています。  
知識・技能、思考・判断・表現の両面とも大きく点数が伸びている。  
思考・判断・表現では記述式の回答がよくできている。
- ◎ 算数：5年生の県学力調査から、10.8ポイント上昇しています。  
知識・技能、思考・判断・表現の両面とも大きく点数が伸びている。  
知識・技能では計算問題でのミスが少なくなっている。

このように向上した要因は、保護者の皆様の協力など色々あると思いますが、ここでは四つほど紹介します。

一つは、学習集団づくりの充実です。集団宿泊訓練や筑後地区音楽祭への参加、6年生を送る会における協力とリーダーシップの発揮などの経験により、目に見えて学習規律が向上し、落ち着いて学習できる集団に成長しています。

二つには、「学びを調整する力」の向上です。昨年度から、全校でめあてとまとめを自力で見出す取組を始め、積み上げています。今年度は、国語と算数における見出し方を職員間で共有・実践したことで更に充実してきました。「自分で考える」「自分から取り組む」などの「学びを調整する力」の充実は、中学校生活にも生かされていくことでしょう。

三つには、朝の活動（15分間）の算数の取組です。県の調査を分析し、取組領域を「少数の割り算」と「割合」とし、1日3問に絞って取り組みました。特に「割合」は2本の数直線をひたすら書いて解く練習をしました。3ヶ月に渡って、両クラス各4名程度、個別対応のための教員を配置しました。また、問題の作成は算数を専門とする教師がしました。

四つには、同じ朝の活動で数年前から行っている作文タイムの積み上げです。短答式も伸びたのですが、国語の記述式の問題での得点が大幅に伸びました。書くことに対する抵抗が少なくなったのでしょうか。「継続は力なり」ですね。

## 質問紙調査：子どもさんの生活はいかがですか？

### 【顕著によかった項目】

- ・(27)5年までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用している。  
⇒全国平均25.3%に対して、本校は77.9%

### 【気になる項目】

- ・(1)朝食を食わずに登校している。⇒全国平均1.7%に対して、本校は5.2%
- ・(5)普段(月～金)、1日あたり3時間以上テレビゲーム(携帯式ゲーム含む)をしている。  
⇒全国平均30.3%に対して、本校は39.0%
- ・(7)携帯・スマホ・PCの使い方について、家の人と約束したことを守っているか。  
⇒全国平均39.4%に対して、本校は26.0%
- ・(21)普段(月～金)、1日あたり1時間以上勉強をしている(塾などを含む)。  
⇒全国平均54.6%に対して、本校は46.3%



朝食については、5.2%の児童が、脳の働きが弱い状態で学校に来ていることとなります。パンやバナナ、牛乳などすぐ口に入れられる物で結構ですので、朝食を摂って脳に栄養分を送って登校させていただくようお願いします。

全国的に話題のSNSとの関わりについては、親子できちんと約束をし、守らせることは、今後の進学、就職等に影響を及ぼします。もしかすると、深夜までテレビゲームをしていて朝起きられないケースもあるのではと心配しています。

家庭での勉強についても、本校児童の家庭での勉強時間は全国より少ないようです。低学年のうちから、学年に応じた勉強時間を確保し、習慣化できるよう共に頑張ってください。

福島小学校の児童は、生活を更に充実させていけば、もっと学力は向上していくのではないかと思います。